



No.1081
 発行
 2022年
 9月5日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 清野 聡
 編集責任者
 教 宣 部



特集集口号

国労東日本本部 第36回定期大会

国労東日本本部第36回定期大会の特集号になります。国鉄新潟1080号の続きで、運動方針についての討論から記載します。

みんなの意見

●水戸く組織拡大について・組織対策会議を開催し議論された取り組みをやりきること。分会オールドの強化、コロナ禍であっても拡大行動は進めていく。

組織のあり方・組合員数が減少しているのを見直しを図る。



グループ会社との 交流会の実施

財政についても議論していくこと。分会対策としては、地域共通との関係について今後、具体的な行動について考えていく。

●グループ関連会社・JESSの交流会の実施や労働組合結成へ取り組みを進めていく。プロパー社員との交流会を実施し職場の課題改善、要求実現に向けて交渉を

実施していく。

●職場代表者選挙く国労組合員（エルダー）の次に若いプロパー社員が当選している。そのことから国労加入を訴えてく。国労のホームページの閲覧者は他労組が多い。そのつながりから国労加入を訴えている。ホームページでの学習会を開催した。



国労東日本第36回定期大会

●ストライキ権一票投票

代議員25名中 25名賛成

ストライキ権が確立されました

●規約の一部改正（案）及び選挙規則（案）の制定

代議員25名中 22名賛成
3名反対

承認されました



総団結し取り組む

●水戸支社・常磐線のワンマン化や水戸線では中編成でワンマン運転を実施している。乗務員の利用者への対応や異常時対応などマニュアル化を要求した。

●国労福島の交流会など参加した。放射能は高線量の状態が続いている。まだ、ふるさとへ帰れない状況が続いている。今年も福島交流の取り組みを要請する。

社友会加入が多くなっている

●千葉く職場では国労組合員が減少している。社友会の加入者が多くなっている。職場の労働条件など厳しい労働環境になっている。



遠隔操作で 休憩が取れない

●東京くJRステーションサービスの職場では業務が遠隔操作になっている。休憩を取るのが難しくなっている。輸送障害の時は変更され休憩がまともに取れない状況だ。

●駅の窓口を閉めている時間帯は支社が対応しているが、運賃など料金がわからない。支社の仕事者が乱雑になっている。支社の担当者は駅業務がわからない。この状態では駅で安心して働けない。

●八王子で国労加入があった。時間をかけて取り組み、拡大へ結び付けた。

毎年70名がエルダーに

●長野く職場は社員が少なくなり労働環境が変わった。担務の変更については業務実績の長い社員から変更している。ベテランが職場から少なくなった。

●長野地本は現在、280名の組織人員で毎年70名の組合員がエルダーとなつていく。現職が減少し国労運動が今後、どう展開していくのか。組合活動などで自分の時間が少なくなっていると思う。エルダー組合員への組合活動を取り組んでいくこと。今後、国労運動を継承していくため本部はどう考えているのか。





不安が広がっている

●統括センターの発足で不安が広がっている。通勤について新幹線が可能になったが遠距離通勤が多くなる。今後も団交について、会社の組織再編など各地方で交渉はできるのか。ダイ改の提案はどうなるのか。今後の地域共闘への関りや活動など、国労運動を取り組む中で不安がある。

●組織拡大していくには、職場で労働条件改善へがんばっていく。

●盛岡、職場代表者選挙の取り組みについて、5つの事業所で4つの事業所は、国労の立候補者に対して他労組からの支持が得られた。当選はしないが大きな成果が上がっている。その取り組みから国労加入につなげていく。

●組織対策会議を7月に開催し意見交換を行い、その結果内容を重視し運動を展開していく。世話役活動の強化や、今何ができるのか議論を深めていく。

業務負担が大きくなる

●働き方、統括センター発足で会社組織の再編が加速している。職場では社員の業務負担が大きくなって不安を抱えている。JR採用の組合員も団交に出席し職場の問題について訴えている。

●国鉄採用者がエルダー社員となり現職が少なくなっている。組織拡大行動では他労組へ国労の機関紙や情報などを配布し訴えている。国労加入用紙は常に携帯している。仲間の大切さを大事に取り組みを進めている。



女性社員の視点に立って要求



●東京、電気職場に女性社員が国労加入した。コロナ感染拡大で不安を抱えていた時だった。分会は職場集いで国労加入の経過について説明し女性の視点に立った職場の労働条件改善について会社へ訴えた。その取り組みが国労加入となった。

●若手国労組合員が3名脱退した。国労加入時の説明の内容が、国労加

入後、イメージと違っていたこと。政治的な動員があつて他の労働組合と同様と感じたため脱退となった。

●2027働き方改革、乗務員が駅業務を行う。駅での異常時の対応が可能か不安だ。

組織再編で社員に危機感

●高崎、会社はコロナ禍で赤字となり、変革2027・会社の組織再編により社員に対して危機感を植え付けている。国労がチェック機能や運動を継承していくため組織を拡大していく。

●エルダーの出向先などで拡大行動を展開している。プロパー社員の不満、不安を改善し拡大につなげていく。

●統括センターの発足は職場を統合させ、ひとりで何役も業務を担当している。合理化となり労働環境が厳しい。



●2023春闘、コロナ禍においても賃上げを要求し労働組合の必要性を訴える。統括センターの発足などで新幹線通勤が可能となり通勤距離が長くなる。そのため標準報酬が上がり税金が上がる。通勤への援助金を要求する。エルダー社員への手当改善を求める。

●職場代表者選挙の得票数が国労組合員数以上になっている。しかし当選には至っていない。決選投票が発生した場合、棄権票は上位当選者の票になる。そのことについて改正を求める。

●規約改正で地方からの代議員選出が難しくなる。各地方からの選出を求める。



大雨による災害発生

●秋田、大雨による災害が発生し現状について現地を視察した。復旧に多額の費用・7億円かかる厳しい状況だ。地方ローカル線を守る取り組みの強化を進めていく。

●2027変革、要員について確保している会社は言っているが勤務は厳しい実態になっている。

●大会代議員の選出について、エリア単位になると地方から選出されなくなる。組織人数の少ない地方からの発言ができなくなるのではないかと。

○方針についての討論では11名の代議員から発言がありました。その後書記長集約があり、方針案が承認されました。詳細についてはエリア本部の機関紙を参照してください。

2022年度改定後の最低賃金		北海道	
全国平均額	961円	青森	920
前年度+31円		秋田	853
都道府県最低賃金	〇〇〇円	岩手	854
		山形	883
		宮城	883
		福井	888
		石川	891
佐賀	853	山口	888
福岡	900	島根	857
長崎	853	鳥取	854
熊本	853	京都	968
鹿児島	853	滋賀	927
沖縄	853	富山	908
		新潟	890
		群馬	895
		福島	858
		栃木	913
		茨城	911
		千葉	984
		神奈川	1071
		東京	1072
		山梨	898
		愛知	986
		三重	933
		静岡	944
		和歌山	889
		奈良	896
		徳島	855
		香川	878
		高知	853
		愛媛	853
		岡山	892
		兵庫	960
		大阪	1023